

図1 1回投与による鼻閉抑制効果

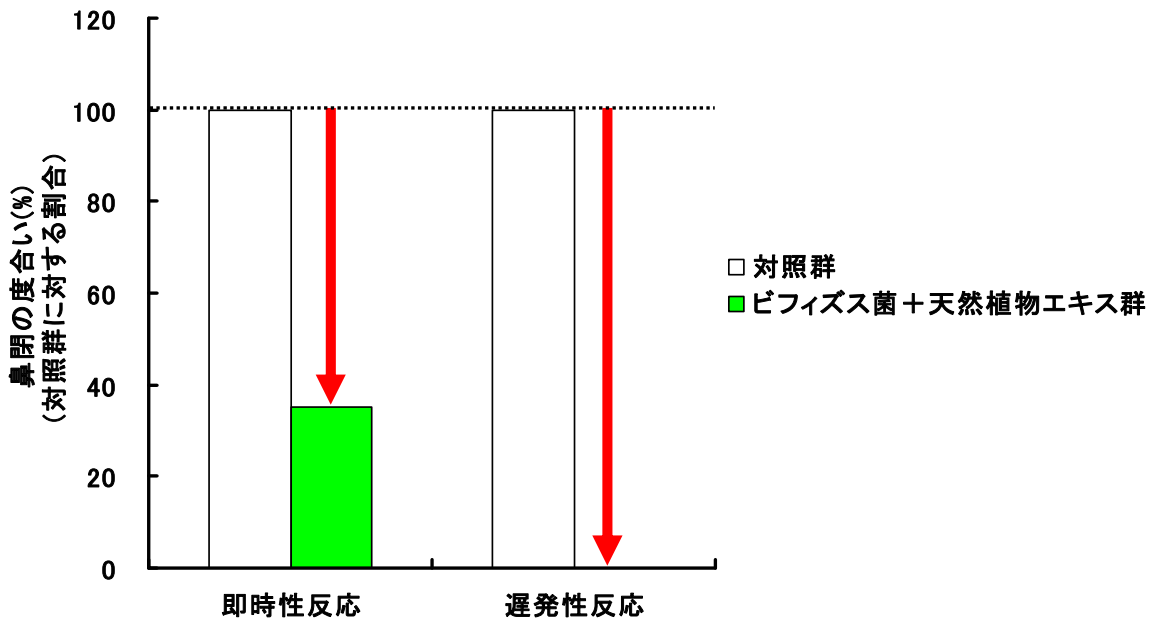


図2 1ヶ月投与による鼻閉抑制効果

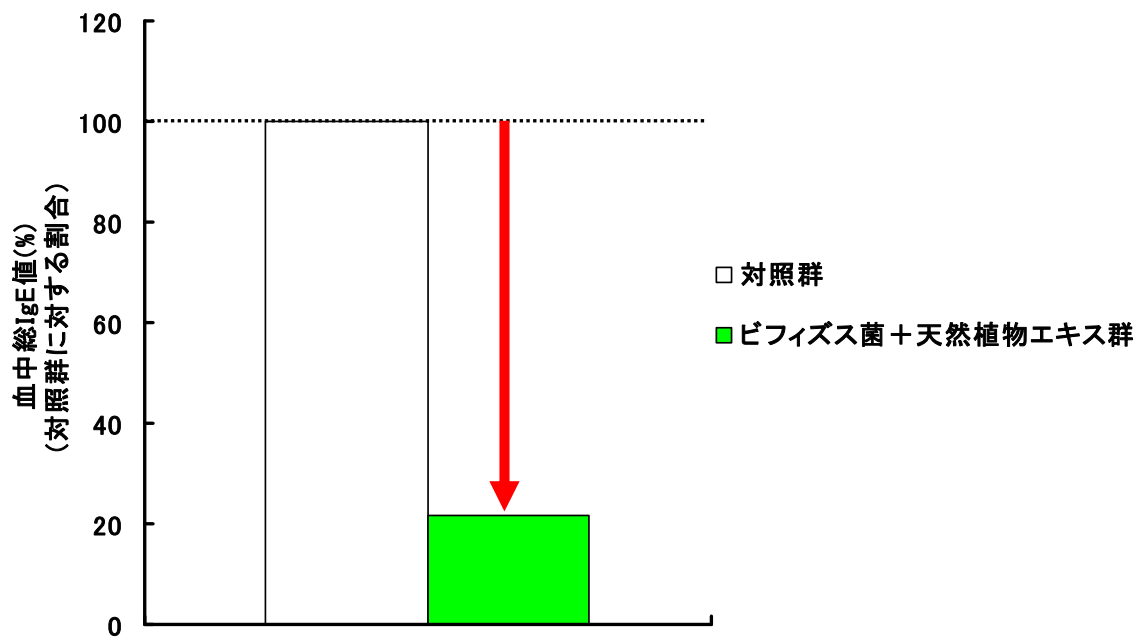


図3 1ヶ月投与による血中の総IgE値

※ご参考

●2者の役割および概要

(1) 京都薬科大学 病態薬科学系 薬理学

担当: 動物モデルの提供、技術指導

(概要)

- ・所在地: 京都府京都市山科区御陵中内町5
- ・設立: 1884年4月15日
- ・代表者: 奈邊 健(なべ・たけし)
- ・研究内容: ヒトの病態に類似した症状を呈する動物モデルの開発およびそのモデルを用いた各アレルギー疾患の発症機構に関する組織、細胞および分子レベルでの解析。

(2) ビオフェルミン製薬株式会社

担当: 動物モデルを用いた評価

(概要)

- ・本社: 神戸市長田区三番町五丁目5番地
- ・設立: 1917年2月12日
- ・代表者: 代表取締役社長 藤本 孝明(ふじもと・たかあき)
- ・資本金: 1,227百万円
- ・売上高: 8,539百万円(2009年(平成21年)3月期)
- ・従業員数: 162名(2009年4月1日現在)
- ・業務内容: 医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、農薬その他薬品類、化粧品、医療機器、食品、飲料品、食品添加物、飼料、飼料添加物の製造、製造販売および売買。臨床検査等の諸検査。上記に付帯関連する一切の業務。